

Argus をご利用のお客様

Salesforce 仕様変更に伴う Argus スケジュール機能への影響について

平素は格別のご高配を賜り、誠に有難うございます。

先日 Salesforce 社よりリリースされました「Salesforce Spring '19」における一部の機能の仕様変更に伴い、Argus スケジュール機能への影響をご案内申し上げます。

お手数をお掛けいたしますが、以下記載内容をご確認の上、運用においてご留意いただけますようお願い申し上げます。

■ Salesforce Spring '19 で変更された点

Lightning Experience のカレンダーで、「一連の行動」（繰り返しスケジュール）を作成できるようになりました。 ※Salesforce Classic においては、同機能を「定期的な行動」と表現されています。

・Salesforce Spring '19 リリースノート

https://releasenotes.docs.salesforce.com/ja-jp/spring19/release-notes/rn_lex_gaps_limitations.htm

この仕様変更は、従来の「繰り返しスケジュール」と比較してデータ構造の変更がされており、その対応状況は現在のところ以下の通りとなります。

	Lightning Experience モードの「一連の行動」		Classic モード の「定期的な行動」	
	作成・更新	参照	作成・更新	参照
Salesforce Lightning Experience 画面より	○	○	×	○
Salesforce Classic 画面より	×	○	○	○
Lightning Sync Google 連携	×	×	×	×
Lightning Sync Exchange 連携	○	○	×	×
Argus	× ※1	△ ※2	○	○

表：一連の行動（繰り返しスケジュール）の取り扱いについて

※1 現時点で Salesforce 提供の API で対応されていないため開発不可という状況です。

※2 現在は未対応です。最新の API バージョン 44 以降で対応されています。

(現在の Argus はバージョン 33 を利用しています)

■ Salesforce 仕様変更による Argus への影響

表にてご説明させていただきました通り、Lightning Experience のカレンダーで、「一連の行動」（繰り返しスケジュール）を作成した場合、現在の Argus バージョンではスケジュールには表示されません。また、Lightning Sync を有効時に Outlook から「定期的な予定」を作成した際も同様でございます。

■ 運用回避策について

1. Salesforce Classic に切り替えた後に、カレンダーから「定期的な行動」を作成する
2. Lightning Experience で「一連の行動」ではなく、「単一の行動」を複数作成する
※Lightning Sync を有効時の場合につきましては 「2.」 にてご対応をお願いいたします。

表の「※2」 に関しましては、現在弊社内で対応を検討中でございますが、利用 API バージョンの変更が必要となり、Argus 全ての機能に影響を及ぼします。

そのため現時点では対応時期について明確なお約束が難しい状況となっております。

ご不便をお掛けいたしますが、運用回避策をご検討くださいますようお願い申し上げます。

この度はご不便ならびにご迷惑をおかけしておりますこととお詫び申し上げます。

本件につきまして、ご質問や不明な点などございましたら、Argus サポートデスクまでお問い合わせください。

今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

2019 年 4 月 15 日
株式会社レッティ